

# 2019年度 事業報告書

特定非営利活動法人 イ・キューブ

## 1 基本方針

2019年度は、環境マネジメント、世代間交流事業、安らかで健やかな持続可能な社会をつくる事業を理念として継承し、新しい取り組みを行った。まず、健康まちづくりの支援を当該年度も展開し、シンポジウムや会合の企画や運営に協力した。また、他のNPO法人の活動との連携を模索し、健康ウォークや市民主体の健やかライフを高度化する企画と運営で、より市民ネットワークに近い活動をイ・キューブとして担うことを試みた。多世代型の学びなおし事業に関しては、地域の資産とも言える住まいと住まい方の特徴ある様式を継承する取り組みをとりあげ、さらに2025年の大阪関西博覧会で健康・医療をとりあげて交流する意義を市民の立場から考えることとした。身近な地域課題で市民活動を活発にしていこうことを目指すこととした。

## 2 特定非営利活動に係る事業

### (1) 地域経営マネジメントの推進

持続社会への行動を促す経営マネジメントを関係団体とともに普及する事業を企画した。具体的には、友好団体と連携して、健康経営、SDG経営等のツールと導入例を学び、普及するセミナー等を開催する準備として「SMEs（中小企業組織）のためのSDG経営推進のガイドライン」を理事が紹介し、理事の間で理念と推進方策を共有することを試みた。

### (2) 「健康と環境の好循環」からみた世代間交流事業

高齢社会における健康寿命延伸と環境への適応と配慮行動を促す世代間交流を推進した。当初は社会成熟や高齢社会の視点から世代間交流を考えたが、より広義に「健康と環境の好循環」を掲げて世代間交流を推進した。具体的には健康づくりの市民行動に環境への関心を高め、また環境未来に応じた市民と事業所の行動が市民と地域の健康づくりにも資するようなシナジ型の事業を検討した。当会の健康づくりの事業と協調して、NGO「21世紀の武庫川を考える会」が企画し開催したウォーキングイベント（4月28日開催）に参加した。その際、「関西大学の健康まちづくりプロジェクト」に協力して、歩数計測、疲労や身体応答の指標として唾液アミラーゼ法での計測、身体運動の頻度などの質問紙調査等を試みた、

また、こころの健やかさをカラダの健やかさを獲得する上で効果が期待される園芸療法について、実践家を招いてワークショップを開催することに協力した。具体的には、「緑地や公園で園芸がもたらす健康への効果」をとりあげ、健都スマートシティ協議会や関西大学先端科学技術推進機構が主催する米国園芸療法士の寺田裕美子さんの講演会の企画を支援し、公園・広場で園芸療法を実践する試みを学んだ。さらに当該NPOの会員3名が大阪市内の信愛学院で開催された西野医師の園芸療法に関する講話を受講し、その効果や進め方を理解し、今後の普及のための知識・経験を交流した。基本的に、当法人が独自に完結させるよりも、環境NPO、福祉NPO、まちづくりNPO等で、会員の関与する諸団体との交流と協力関係を高めることとした。

セミナー 「健やかサービスのオープンイノベーション・プラットフォーム」

開催日 2019年12月14日（土） 午後1時～3時 開催場所：関西大学

講演者 寺田裕美子 氏（米園芸療法協会認定園芸療法士）

主催 健都スマートシティ協議会、関西大学健康イノベーション研究会主催（イ・キューブ共催）

出席者 12名（一般参加者を含む）

話題内容 園芸療法の進め方、都市における緑の心理的効果、市民参画の方法

### （3）安らかで健やかな持続可能な社会をつくる事業

地域の持続可能な発展にとって地域の特徴ある資源を活かした取り組みを図るアプローチにとって、大都市圏の住宅地の形成とその変容の中で維持されてきた住宅群が住まい方を反映したのものとして保全活用することには大きな意義がある。宝塚市東部の近代住宅の中で所有者が市に寄贈した典型的な米国様式住宅にもかかわらず屋根等に損傷が生じた「安田邸」の緊急対策と保全活用を図る地元の市民団体と協議し、当法人として連携して取り組む方策を検討した。ワークショップの企画および地域調査・活動支援の助成プログラムへの応募を試みた。

スマートシティや地域創生の試みを高齢社会の世代間交流に凝集するような NPO らしい未来デザインの企てを探索し、コンサルタンツやシンクタンク、社会団体等との協力を推進し、各種の未来事業の分担と協働を検討した。12月21日にメディアから見た2025年大阪関西博覧会の意義についてカドカワの玉置泰紀氏の講演会を開催し、会員及び共催した関西大学健康イノベーション研究会の関係者の間で意見を交わせ、博覧会の掲げる健康医療のイノベーションでいのち輝く未来を地域で共創する構想について考えた。

講演会 「メディアから見た万博2025年を介した関西の健康・医療のまちづくり」

開催日 2019年12月21日（土） 午後3時～5時 開催場所：関西大学梅田学舎

講演者 玉置泰紀 氏（KADOKAWA 2021年室 エグゼクティブプロデューサー担当部長）

主催 イ・キューブ主催、関西大学健康イノベーション研究会共催

出席者 10名（一般参加者を含む）

話題内容 2025年の大阪関西万博の企画、関西圏の発展の方向、各種団体組織の動向と役割

## 3 補助申請について

ひょうご環境創造協会の市民環境活動支援の枠組みを学習し、複数の団体で協力して申請を検討したが熟度が高まらず、地域の課題に焦点をあてて公募のあった私鉄（阪急阪神 HD）関係ファンドの地域市民活動支援の助成に応募した。結果しては採択されなかったが、市民団体との連携をはかり、今後とも調査や特色ある行動計画を資金面から支える補助申請を企画していく方法を学んだ。

## 4 事業実施体制

### （1）会議に関する事項

#### ① 通常総会

開催日：2019年5月18日（土） 午後1時～2時30分、開催場所：関西大学千里山学舎

出席者 9名（うち 委任状 3名 ※正会員総数 14名）

議事内容 2018年度事業報告、決算報告の承認 2019年度事業計画、活動予算の承認  
定款変更案、2019年度役員の承認

## ② 理事会

### 1) 第1回理事会

開催日 2019年5月18日(土) 午後2時30分～4時 開催場所：関西大学千里山学舎

議事内容 理事の役割分担、事業の進め方、定款変更に伴う所管官庁への届出

### 2) 第2回理事会(拡大)

開催日 2019年12月14日(土) 午後3時～4時 開催場所：関西大学千里山学舎

議事内容 園芸療法の進め方等の探索と役割 (講演会の後で協議)

### 3) 第3回理事会(拡大)

開催日 2019年12月21日(土) 午後5時～6時 開催場所：関西大学梅田学舎

議事内容 万博の開催に向け関西圏の未来とNPOの役割に関し意見交換 (講演会の後で協議)

### 4) 理事懇談会

開催日 2020年3月24日(火) 午後1時30分～3時 開催場所：関西大学千里山学舎

出席者：盛岡理事長、古武家理事

議事内容 HPの更新、各事業の報告、2019年度事業報告、決算書の作成、次期事業の進め方

### 5) 第4回理事会

開催日 2020年5月9日(土) 13時30分～14時30分 開催場所：Web 審議

出席者：盛岡代表理事、古武家理事、矢野理事

議事内容 5月16日総会への準備、2019年度事業報告、決算報告、2020年度事業計画と活動  
予算、2020年度役員

## ③ 2020年度の通常総会 (2019年度事業報告、決算報告の承認)

開催日：2020年5月16日(土)13時10分～14時30分 開催場所：ZOOMでのWeb会議

出席者 9名(うち委任状2名 ※正会員総数14名)

議事内容 2019年度事業報告、決算報告の承認 2020年度事業計画、活動予算の承認  
2020年度役員承認

## (2) 事務局体制

- ① 事務局長：古武家 善成

## (3) 会員

- ① 正会員 14名 (2020年3月31日現在)